

金沢法人会会報

第192号
平成23年1月15日発行

- ◆「心と形の調和を目指して
- ◆納税者サービスの向上に努めます

金沢法人会会长　角間俊夫

金沢税務署長　前田恒一

◆「税を考える週間」協賛特別講演会

どうなる日本!? 不安な社会・経済情勢を斬る

コラムニスト 勝谷誠彦氏



<http://www.kanazawa-houjinkai.or.jp/>

法人会
消費税期限内納付
推進運動
表紙：金沢の郷土玩具
もちつき兎

心と形の調和を目指して



金沢法人会会长
角間 俊夫

が発覚し、会員の皆様に大きなご心配とご迷惑をおかけ致し、誠に申し訳なく心からお詫び申し上げます。

世の中がますます複雑化し、多様化し、交流範囲が拡大しています。それを推進する情報技術の発展をはじめとする科学の進歩と、それを制御する人間の哲学や思想との調和が保たれていることが大切になります。

一方で、人間はお互いに絆を大切にし、助け合って信頼を深めていかなければ生きていけません。ところが、このように信頼が裏切られることがあるのも現実

です。
地上の生物には天敵がいますが、万物の靈長と自負する人間には天敵がないと思つていました。ところが、人間の天敵は強いて言えば人間の心だと思います。数年前、東京のJR新大久保駅でホームから落ちた人を救おうとして線路に飛び降りた日本人のカメラマンと韓国からの留学生が犠牲になりました。この行為は失われつつあった人間の人間に対する信頼を取り戻させてくれました。人間の心の一番奥底は善であると知りました。でも今回の不祥事で、人間の心とは弱いものであることも再度知りました。自らを律する自律と、他人からの目や仕組で制する他律の両方をしつかりさせておく

べきです。
そこで、我々法人会活動も納税意識の向上という大切な問題に、道徳という恥じる心に力点を置きつつ、不正な心を起させないような仕組づくりに一層努力せねばなりません。今日の「自分さえよければ」という風潮を脱し、子孫から尊敬される國柄にしなければと思います。
本年、金沢法人会は創立五十周年、社団化四十周年の記念すべき年を迎えます。会員各位のご理解とご協力のもと、新公益法人を目指す有意義な年にしたいと念じております。よろしくお願い致します。

さしのばる朝日のごとく、さはやかに
もたまほしきは、こうなりけり

納税者サービスの向上に努めます



金沢税務署長
前田 恒一

につきまして、深いご理解と多大なご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

金沢法人会におかれましては、良き經營者を目指す方々の団体として、会活動の基盤である会員増強や組織の活性化に取り組まれるとともに、企業経営や地域社会の健全な発展に寄与するために各種の研修事業や社会貢献活動を積極的に展開され、立派な成果を上げておられます。

これはひとえに、角間会長をはじめ役員並びに会員の皆様方による会活動への取組の結果であり、そのご尽力に深く敬意を表する次第であります。

また、私どもが当面の最重要課題として取り組んでおります国税電子申告・納税システム（e-Tax）の普及・利用拡大に関しまして、積極的にe-Tax の普及推進に取り組まれておりますことに感謝申し上げますとともに、今後ともより一層のご協力、ご支援をお願い申し上げます。

まもなく平成二十二年分所得税等の確定申告期を迎えることとなります。署といたしましては、本年度の確定申告期では、引き続きe-Taxを利用した申告の推進などにより、事務処理の効率化、納税者サービスの向上、更には自書申告の推進を図っていく所存でございます。

会員の皆様方にはご自身のみならず、ご家族、社員及び社員のご家族の確定申告にも、是非ともe-Taxをご利用していただきますようお願い申し上げます。

なお、会員の皆様方には、これまで法人大税及び消費税を中心にしてe-Taxのご利用をお願いしておりますが、印紙税等の他税目の申告等や法定調書の提出、さらには電子納税のご利用も併せてお願い申し上げます。

結びにあたり、新しい年が社団法人金沢法人会のますますのご発展並びに会員皆様方及びご家族の方々にとりまして、幸いの多い年となりますようお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

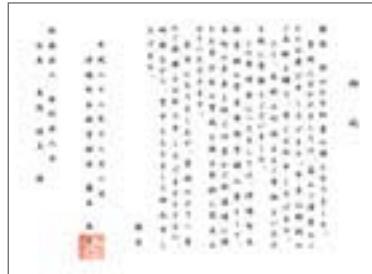
平成二十三年の新春を迎えるにあたり、社団法人金沢法人会の皆様に謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様方には、日ごろから税務行政の円滑な運営

地域社会貢献活動報告

学童教育図書の寄贈

当会では前年度に引き続き、かほく市と河北郡二町（津幡町・内灘町）へ学童教育用図書購入費用として、計五十万円を寄贈した。また、金沢市への寄贈についても今年度中を予定している。

なお、かほく市と河北郡二町からお礼状が届けられており、広報誌などでも紹介された。



租税教育活動を強化

役割を正しく学んでもらうため平成十九年から行ってきた租税教育活動は、青年部会、女性部会活動の大きな柱と位置づけられており、それぞれが活動を拡大し活発になっている。

昨年度、青年部会は八校、女性部会は二校の小学校を訪ねて租税教室を行った。委員会を中心に授業の進め方を検討し、手作りの教材に工夫を重ね、部会員自らが教壇に立つて楽しい授業を開催し、児童の関心を引きつけている。今年度も両部会ともに金沢市内の小学生六年生を対象に租税教室の開催を予定している。



税のマンガ本を配布

次代を担う子どもたちに租税の意義や役割を正しく学んでもらうため平成十九年から行ってきた租税教育活動は、青年部会、女性部会活動の大きな柱と位置づけられており、それぞれが活動を拡大し活発になっている。

今年度のマンガ本は、昨年に引き続き水木しげる氏作の『税つてなんだ?』。当会にお



昨年「ゲゲゲの…」が流行し、注目度がアップした鬼太郎が主役。



妖怪たちと人間界の税金を調べていくうちに税の大切さを学んでいく内容。

いても、「税を考える週間」特別講演会が開催で、また各市町村の教育委員会や公民館の協力を得て今年の成人式で配布した。

また、今年度は新たな試みとして、寄贈先施設にタオル・石鹼を贈呈する際に、入所者や職員の方々を対象にセラピーコンサートを開催した。

※詳しくは七ページ女性部会NEWSを参照

本年度も社会貢献活動として「タオル・石鹼持ち寄り運動」を展開している。

タオル・石鹼持ち寄り運動

かほく市、河北郡の2町から感謝状が寄せられ、広報誌でも紹介されました。



各研修会の受付でタオル・石鹼の回収を行い、金沢市を中心とした社会福祉法人へ寄贈している。

施設からタオルと石鹼、セラピーコンサートへのお礼状が届けられた。

税務相談

Q

&

A

——最近、相談の多い事例より——

対し、八月三十一日に支給する給与は、ローマ支店の勤務期間に対応する部分も含めその全額が居住者に支払う給与となりますので、その支給の際に源泉徴収とともに、扶養控除等申告書を提出している場合で、年末調整を行う際には、その対象としなければなりません。

〔留意事項〕

海外勤務に係る給与等の取扱いについて

Q 出国後に支払われる国内勤務期間の給与

当社の従業員Aは、2年間のフランス支店勤務を命じられ、九月十日に出国しました。従業員Aの九月分の給与は九月二十五日にフランス支店において支払うこととしています。が、当社の給与の計算期間は、前月の二十一日から今月の二十日までとなっているため、九月分の給与には、日本における勤務分とフランス支店における勤務分が含まれています。



A 給与の計算期間の対象となる範囲

この場合、九月分の給与は、出国の際に行う年末調整の対象となります。この場合、九月分の給与は、出国の際に行う年末調整の対象となりますか。外の支店や現地法人に転勤したこ

Q 帰国後に支払われる国内勤務期間に応する給与

二年間のローマ支店勤務を終え、八月十一日に帰国した社員がいます。当社の給与計算期間と支給日は下図のとおりと

なおり、九月二十五日に支給する給与のうち国内勤務に対する部分については、原則とすれば非居住者に支払う国内源泉所得税として二〇%の所得税を源泉徴収する必要があります（所法212）が、ご質問のように、給与の計算期間が一ヶ月以下であるときには、その給与の全額が国内勤務に対応するものである場合を除き、その全額が国内源泉所得に該当せず、源泉徴収を要しないものとして取り扱つて差し支えないこととされています（所基通212-3）。



A 給与の計算期間の対象となる範囲

この場合、九月分の給与は、出国の際に行う年末調整の対象となりますか。外の支店や現地法人に転勤したこ

税務署からのお知らせ

確定申告期間中の閉庁日対応

金沢税務署では確定申告期間中の次の日曜日は、確定申告の相談、申告書の受付を行います。

- 閉庁日対応を行つ日
平成二十三年二月二十日（日）
平成二十三年二月二十七日（日）

● 対応業務

確定申告書用紙の配付、申告相談、確定申告書の收受及び納付相談

（注）税務署は通常、土・日・祝日は執務を行つておりませんので、注意ください。

（注）税務署は通常、土・日・祝日は執務を行つておりませんので、注意ください。

（注）税務署は通常、土・日・祝日は執務を行つておりませんので、注意ください。

「税を考える週間」協賛 特別講演会

勝谷 誠彦氏が講演

十一月十一日（木）石川県文教館で、金沢法人会と金沢商税会共催の「税を考える週間」協賛特別講演会が開催され、金沢国税不服審判所長の池上健氏、コラムニストの勝谷誠彦氏の二部構成で講演が行われた。

第一部 行政と救済の『はざま』で



金沢国税不服審判所長
池上 健氏

第二部 どうなる日本!?



コラムニスト
勝谷 誠彦氏

不安な社会 経済情勢を斬る

民意あつての文民統制

昨年、自民党から民主党への政権交代が実現したものの、政治の迷走は深まるばかり。それでも、自分が納めた税金がどこでどのように使われているのか全くわからなかつた時代に比べれば、今の方が良いと勝谷氏。「もしかしたら、真っ暗な明日になるかもしれないけれど、少しは僕たちでコントロールできる、文民統制ができる世の中になるかもしれない。それができるかどうかは皆さんのグリップ一つなんです」。

同じようなところに国道や農道、林道など別々の省庁が管理する道路が並行して走るムダ。ダムも港湾もしかり。沖縄の基地問題にしても、何兆円もつぎ込んでいるはずなのに沖縄経済は潤うことなく、沖縄の人たちに報いることもできないのはなぜか？それぞれに口利きと利権が絡んでいたのだろうが、五十年以上も一党独裁のような状態が続いてきた日本を見る世界の目を少しばかり見つけていふと言ふ。戦後の復興を担つた政党がその役割を果たした後も政権を維持し、同じ体制が長く続いた結果、抱えてしまった大きな矛盾。テレビしながらに歯に衣着せぬ口調で政治のありようをバツサリ斬り捨てるとともに、それを黙つて見てきた有権者の意識についても述べられた。

税務署の調査結果や課税金額等に不服があった場合「異議申し立て」による見直しが行なわれるが、その結果にも不服がある場合、納税者は「審査請求」を行うことができる。それを受けて第三者の目で審査・調査を行うのが国税不服審判所であり、公平性を保つため国税庁長官の指揮命令を一切受けない独立した機関になつていていること等を説明された。



また、「国民の権利・利益の救済」「行政のコンプライアンス維持」等の役割を担つて行つてきた四十年間の仕事を見直し、公平性とスピードをさらに高めるため民間の専門職の登用を進めることなど、現在行つてゐる取り組みについても述べられた。

自分の頭で考える自立した有権者に

右肩上がりの時代であれば、利権や談合で政治家だけではなく関係する業界も皆等しくおこぼれに預かつて太ることができた。国民も自分の票を差し出せば、去年より少し豊かな生活ができるのだ。そんな「利権談合共産主義」が経済の低迷とともに維持できなくなっているのが今の時代だ。「誰に頼むのでもない、自分の頭で考える時代にやつとなつたのです」と勝谷氏。

町内会や組合の誰かに頼まれて投票するのでなく、自分で情報をとり、自分の頭で考えて投票行動をする自立した市民がこれから日本を作るのであり、政治家も組織を頼むのではなく、有権者に直接政策を訴えるべきである。政治家と有権者が直接結びつくことが自立した有権者を育て、民主主義を根付かせることになるのだ。

国民も他人任せで無闇心だったことは間違いない。有権者は税金を払つている国のオーナー、会社で言えば株主に当たる。勝谷氏は海上保安官が名乗り出た。勝谷氏は自分の命や職をかけて起こしたホイッスルブロアー（内部告発者＝笛を吹く者）としての彼の行動を支持すると言う。「僕も笛を吹く者でありたい」という勝谷氏の言葉が印象的だったのと同時に、有権者一人ひとりに笛を吹く者としての自覚がなければ、やつと芽生えた民主主義を守ることはできないと実感した。

青年部会が「租税教室」説明会を開催

—子どもたちに税を教え、自らも学びましょう—

金沢法人会青年部会では、今年度も「租税教育活動」を部会活動の大きな柱として認識し、「租税教室」の拡充開催を目指す。

昨年度、八校で五百名以上の生徒を対象に開催した経験と反省をふまえ、今年度も租税教育委員会が中心となって、授業のシナリオと教材を進化発展させ、全員会員を対象にボランティアの協力を呼びかけた。参加希望者には、税の知識や講師としての心構えなどを学ぶ場として、「租税教室 説明会」を計二回開催、のべ

三十名が参加し講師の実演や参加者の摸擬体験を通して活発な意見が交わされた。なお、今年度の十二月から一月にかけて金沢市の、千坂小、南小立野小、米丸小、菊川町小、額小、鞍月小にて「租税教室」の実施を予定している。



今年度初めて講師を務める会員が実際の教材を使って模擬授業を体験。



青年部会員が工夫しながら作成した資料の数々。

▼昨年度の活動報告を動画にてHP上で公開しておりますのでぜひご覧ください
www.kanazawa-houjinkai.or.jp/man/index.htm

創業の原点を探る

—青年部会が視察研修会 サントリー 山崎蒸留所、月桂冠大倉記念館を訪問—



サントリーの原点、山崎蒸留所を訪問



すらりと並ぶ樽に時の重みを感じる。

十一月十九日（金）二十日（土）、青年部会は平成二十二年度視察研修会として大阪のサントリー山崎蒸留所、京都の月桂冠大倉記念館を訪れた。

今回は「創業の原点を探る」をテーマに、企業の原点となる場所を訪問し、創業当時の先人のこころざしと情熱を体感するため、研修委員会が中心となつて企画開催し部会員十五名が参加した。



お昼をいただいた湯葉料理屋さんのご厚意で湯葉製造の現場を見ることができた。

を通じて部会員同士が自ら感じたことを語り合うことができたことが非常に有意義であつた。

創業の原点を探り、その歴史をたどりながら参加した部会員は多くを感じ学ぶことがあつた。そして何より、今回の研修

を経て、部会員同士が自ら感じたことを語り合うことができたことが非常に有意義であつた。

設された同所の歴史とともに、同所を原点とするサントリーのあゆみについて学んだ。京都では、伏見の月桂冠大倉記念館にてその創業の歴史をたどり、昼食先の湯葉料理屋さんでは、ご厚意により予定にはなかつた工場見学をさせていただくことができた。

（以下略）

新企画「セラピーコンサート」を開催

—タオル・石鹼持ち寄り運動を進化—

青年部会の研修会でも本格的にご協力ご理解を頂けるようになってきました。

ここ数年は、タオル・石鹼を必要とする児童施設（知的障害者・知的障害児施設を含む）を訪問し交流を図っています。

そこでやっと施設の状況が分かるようになり、公益としての社会貢献活動を踏まえて、セラピーコンサートを企画。例年は年度末に寄贈に伺っていた訪問先のうち二か所にご連絡をして日程を決め、十一月の予定で準備にかかりました。

このコンサートの趣旨は難しいものではなく、施設の皆様に音楽を通して心を癒して頂こう、そして元気を出して頂こうというものです。音楽といつても幅広いのですが、ピアノの本格的な響き（ク



金沢法人会女性部会の社会貢献委員会は、平成十二年度からスタートした「タオル・石鹼持ち寄り運動」をより強化し、さらに重みのある活動にしたいと考え、施設へ「タオル・石鹼」の寄贈に伺った際に、「セラピーコンサート」を実施しました。

活動の経緯を簡単に記しますと、開始

から数年は部会内で集めていた品物を税務署管内の三～四ヵ所の高齢施設、児童施設へ順番にお届けしていましたが、年に一度開催される本会の「税を考える週間」特別講演会の案内の中に活動の趣旨を入れて頂くことにより活動は活発化しました。さらにご理解を得て、定例研修会へ出向いて回収ができるようになります。

コンサート開始の前に タオル・石鹼の贈呈式を行いました。

11/18 希望が丘



11/22 石川整肢学園



ラシック）に耳を傾け、指遊びにはしゃぎ、職員の方々も喜んでくださり、ほつとしたのが正直な思いでした。施設の皆様が揃った所で「タオル・石鹼」の贈呈式も行うことができ、伺った我々も元気を頂き、癒され、社会貢献活動の「お互い様」という気持ちを実感させて頂きました。

今回の活動の趣旨を理解し、賛同して頂いたピアニストの生垣淑子先生（自らも音楽を通したボランティア活動をされている）には本当に感謝しています。タオル・石鹼等を持って来て頂いた皆様に感謝の報告をするとともに、「セラピーコンサート」が喜ばれる活動として定着するよう応援をお願い致します。

年度末には他の施設を訪問し、タオル・石鹼等を寄贈致しますので、今後ともご協力期待しております。

（社会貢献委員長 若松 恵美子）

国税電子申告・納税システム

e-Tax

納税にはダイレクト納付が便利です！

e-Taxを利用して電子申告等をした後に、届出をした預貯金口座から、簡単なクリック操作で即時又は期日を指定して納付することができます。

※事前にダイレクト納付利用届出等の提出が必要です。
※届出から利用可能となるまで、1か月程度かかります。

国税に関する申告や納税、申請・届出などの手続きがインターネットで行えます。



e-Taxを利用して所得税の申告をするとこんなメリットが！

最高5,000円の税額控除

添付書類の提出省略

還付金がスピーディ

ご利用に際し条件、注意事項があります。
詳しくはホームページでご確認ください。

イータックス

検索

法人会

法人会は会社経営の効率化のためにe-Taxの普及を支援しています。

話題の「断捨離」、 ごきげんな自分へ・研修会開催

—場を整える、心を調える、日々是ごきげん、
今から、ここから、スタート—



十月二十日（水）、講師に小松市在住のクラターコンサルタントやましたひでこ氏をお迎えして、金沢法人会女性部会研修会が開催されました。新聞、雑誌、テレビなどでも話題の「断捨離」についてのお話です。大学時代、ヨガ道場に入門され、そこで出会った行法哲学の断行、捨行、離行の考え方をもとに考案されたのが、独自のかたづけ術「断捨離」、クラターとは「c l u t t e r（ガラクタ）」のことです。住まいや心、頭の中のガラクタを取り除くお手伝いがやました氏の仕事と位置付けていらっしゃいます。

「断捨離」の目的は健康と安全、安心と

元気、開放感と爽快感に満ちた場を自分に提供しよう、そのためには断捨離的な手法で溜め込んだモノをかたづけていきましょうという提案です。断捨離

では、”かたづけ”を、”自分の軸に戻す”。時間を今に戻す”と明確に定義づけています。かつて重宝してました、いつか使うかもしない、もらつたものだから捨てられない、と溜っていくモノ。かつて友達だった、かつてスマートだった、と溜っていく目に見えない心のモノ。それって本当に今の自分に必要なのですか？心と周りに溜っているモノが自分にとつてどんな存在なのかを問い合わせ、今の自分が本当に必要なモノを選び出していきます。順序としては引き算から始めましょう。

不要なモノを取り除くことによって、本当に自分に必要なモノだけが残る、残ったモノは全て自分の味方、モノも空間も、人も。清々しい気分、清々しい空間、断捨離の最大の効果は、自分にとつて本当に心地よいモノかどうかを見極めるモノサシを知り自己肯定感が高まること。

お客様をもてなすように、自分で自分を気持ちよくしてなしましょう。ごきげんな空間、ごきげんな自分でいるための第一歩を始めましょう。参加者のテーブルを回り一人ひとりに話しかけながら一時間半、講師のパワーが直球で伝わってきました。

十月二十六日（火）、朝八時

にバスで金沢駅を出発し午前中

に小布施の町に到着しました。

小布施は人口一万人、日本家屋の美しさを生かした店々が並び、時をかけて築いてきた街づくりが成功している町です。その昔、千曲川を利用した行灯用菜種油の商いで栄えた歴史の面影、特産の栗を使つた銘菓や食事、土産店や醸造蔵など観光客を飽きさせない魅力があり、散策



長野法人会女性部会の皆さんと一緒に。

趣ある工場の一室で、街づくりについて思いを語る小布施堂の市村社長。

先進地視察研修会を実施

—長野法人会女性部会と交流を深める—

に絶好の街並です。

小布施堂本店で昼食の後、歴史薫る庭内的一角にある工場で小布施堂社長市

村次夫氏のお話を伺いました。テーマは街づくりについて。「街づくりは、街の資産価値を高める」「小布施は生活と文化・観光が分離していない街である」

「日本は街づくりにさらに取り組めば、世界の富豪たちが集まつてくる国になる」など、地元から世界への大きな夢を語りました。

翌朝は北野美術館へ。日本の名だたる書画からユトリロ、ルノワール、シャガールなどの世界的名画まで展示され、一企業の理念の高さがうかがえました。

長野の象徴、善光寺の境内から参道の商店街を歩いて到着した「藤屋」は、日本旅館を改装した古きオリエンタルな佇まい。そこを会場に長野法人会女性部会の皆様との交流会が開催されました。各部会長の挨拶に始まり、金沢の「薰り高き金木犀」の合唱、自己紹介、各活動について発表し、昼食を取りながらの懇親会へと続きました。長野法人会女性部会のフリーマーケット開催による施設への寄付など、ユニークな活動は参考になるものでした。帰路、長野会員のトレイン博物館に立ち寄り、有意義な二日間の先進地視察研修を無事終えました。

（総務・広報委員長 小竹 美子）

支部研修会報告

経営を学び、語り合おう

本会で開催される定例研修会のほかに各支部でも独自の研修会を実施して、経営に役立つ最新の情報や経営戦略を学ぶ機会を設けております。ぜひ、ご参加ください。

東部地区五支部合同 (小立野・南小立野・犀川・湯涌・田上)

- ◆ 日時／十一月十日(水)
- ◆ 場所／加賀料理八百辰
- ◆ テーマ・講師
商売繁盛応援団
顧問・前社長 木越 和夫氏



白板をいっぱいに使って、そのユニークな経営スタイルを解説された。



有限会社せいわ箸店(箸匠 せいわ)

- ◆ 日時／十一月十日(水)
- ◆ 場所／加賀料理八百辰
- ◆ テーマ・講師
商売繁盛応援団
顧問・前社長 木越 和夫氏

長町支部

- ◆ 日時／十一月十七日(水)
- ◆ 場所／金沢中警察署
- ◆ 内容
署内見学後、署長のお話及び幹部の方との懇談



午後は会場を変えて、角間会長の講演が行われた。

緊張した空気が漂う接見室。

問屋町支部

- ◆ 日時／十一月十八日(木)
- ◆ 場所／金沢流通会館
- ◆ テーマ・講師
どうなる日本の政治と経済
フリージャーナリスト・評論家 坪川 常春氏

戸板支部

- ◆ 日時／十一月十八日(木)
- ◆ 場所／マリエールオーケパイン金沢
- ◆ テーマ・講師
となりの会社の労使トラブル
(社労士は見た! 労使トラブル驚きの現場)

社会保険労務士
山田事務所 代表
三井 敏彦氏



税理士会による無料相談会のお知らせ

北陸税理士会金沢支部では、下記の日程で無料税務相談を行います。ぜひ、ご利用ください。

●2月19日(土)は税理士記念日

会場での相談	9時～16時	税理士会館 金沢市北安江3-4-6
電話によるご相談	13時～16時	076-224-9034(当日のみの専用回線)

●税理士記念日以外の相談日

会場でのご相談	2月 5日(土) 9時～16時 2月12日(土) 9時～16時	税理士会館 金沢市北安江3-4-6
---------	------------------------------------	----------------------

※この記事に関するお問い合わせは北陸税理士会金沢支部までお願ひいたします。TEL(076)223-1841

加賀野菜

4

後世に伝えたい
郷土の味

せ

り

表紙解説

金沢の郷土玩具
もちつき兎

美しい湧き水が育てた
加賀野菜のせり

諸江地区で栽培されている加賀野菜のせりは、茎の長さが四十センチ、全国で栽培されるせりの中でも茎が最も細くアグクが少ないのが特長です。細葉の系統で、茎の太いものより収量は少ないので、姿が美しく品質が良いことから評価も高く、冬の食卓に彩りと香を届けるこの季節に欠かせない野菜になっています。

諸江地区のせりは明治時代に、こんなと湧き出る豊富な水とその水質の良さに気づいた柿本庄左右衛門が栽培を始めたと言われています。浅野川の伏流水による清潔な湧き水がせりの栽培に適して

いたことから、諸江地区自慢の特産品にまで育ちました。昭和に入つてからさらに生産が伸び、最も盛んだった昭和三十年から五十年頃は県内生産量の一〇〇%を占めるだけでなく、県外各地にも広く販売されていました。

昭和四十年頃から湧き水の量が減つたため、現在は深い井戸を掘つて電気ポンプで水をくみ上げて栽培しています。また、都市化による栽培地の減少、後継者の問題等から生産量は減つっています。

独特の香りはこの季節だけのもの

”せり”と名づけられ、春の七草の一つ

春の香りを楽しみましょう

せりうどん



材料(4人分)

- うどん…4玉
- 昆布…20cm
- せり…2束
- 薄口しょうゆ…大さじ1・1・1/2
- 飾り麩…8枚
- 塩…小さじ1・1・1/2
- 水…6カップ
- みりん…少々
- 削り節…60g

- 1 昆布は洗わずに水に入れて弱火にかけ、煮立つ直前に鍋から出す。
- 2 1にしょうゆ、塩、みりん、削り節を入れて5分間煮立てて火を止め、削り節が沈んだらこす。
- 3 せりは2cmの長さに切り、飾り麩は水で戻してしぶる。
- 4 うどんをゆでて器に盛り、熱いつゆをかけてせりをたっぷりのせ、麩を飾る。

かつおの削り節だけでなく、さば節やいわし節を混ぜるとコクのある味になりますよ。

ワンポイント

買う時は、葉がいきいきとして黒ずんでいないものを選びます。濡れた新聞などで根元を包んでビニール袋に入れ、冷蔵庫に立てて保存することをおすすめします。

せりは金沢のシンプルなお雑煮には欠かせない存在。ほとんど角餅しか入って

いないお雑煮に独特の香りを放つ瑞々しいせりを添えるだけで、お椀の中にお正月らしさが漂います。茶碗蒸しや雑炊、おスマしなど、料理の彩りにちょっと添えるだけの使い方が一般的ですが、今年はお鍋の具にいかがでしょう。しゃぶしゃぶふうに、さつとお湯にくぐらせて食べると味や栄養分を損なわずおいしくいただけます。

主な产地 .. 金沢市諸江地区
出荷時期 .. 十一月上旬から四月下旬



江戸時代後期、天保の飢饉のころに生まれた玩具で、お米をいっぱい食べたいとう思い、人々の豊作への願いが込められています。

木でできた素朴な兎は、台の下に伸びた糸を引くと、それにあわせて餅をつくようになります。

木でできた素朴な兎は、台の下に伸びた糸を引くと、それにあわせて餅をつくようになります。

参考..石川新情報書府

写真協力..中島めんや



金沢支社/金沢市南町4-60 TEL 076-231-1195

企業を支えつづける夢がある。 **Daido** 大同生命

ワンポイント

しっかりと朝食を
食べていますか？

朝食を食べない人の割合が年々増加傾向にあると言われていますが、低体温や疲労感、集中力の低下など、朝食を抜く弊害は想像以上に大きなものです。

朝食はその日一日のエネルギー源です。忙しいからこそ朝食の価値を見直して、毎日少しずつでも朝食をとる生活にチャレンジしてみませんか。



事務局だより

◆研修会・説明会

◆研修会・説明会	事務局だより
10月26日	16日 青年部会第1回租税教室
11月1日	17日 青年部会第4回正副会長 説明会
11月10日	18日 戸板支部役員会
11月11日	19日 押野支部役員会
11月12日	20日 田上支部役員会
11月13日	21日 第7回正副会長会議
11月14日	22日 青年部会研修委員会
11月15日	23日 青年部会第2回租税教室
11月16日	24日 説明会
11月17日	25日 南小立野支部役員会
11月18日	26日 第8回正副会長会議
11月19日	27日 女性部会先進地視察
11月20日	28日 東部地区5支部合同研修会
11月21日	29日 「税を考える週間」協賛特 別講演会
11月22日	30日 長町支部研修会
11月23日	1日 戸板支部研修会
11月24日	2日 間屋町支部研修会
11月25日	3日 女性部会セラピーコンサ ート
11月26日	4日 青年部会視察研修会
11月27日	5日 女性部会セラピーコンサ ート
11月28日	6日 間屋町支部研修会
11月29日	7日 第8回正副会長会議
11月30日	8日 女性部会第2回研修・租 税教育委員会
12月1日	9日 役員臨時説明会
12月2日	10日 第8回正副会長会議
12月3日	11日 女性部会第4回役員会
12月4日	12日 高松支部役員会
12月5日	13日 犀川支部役員会
12月6日	14日 宇ノ氣支部役員会
12月7日	15日 南小立野支部役員会
12月8日	16日 安原支部役員会
12月9日	17日 女性部会第3回社会貢献 実行委員会
12月10日	18日 女性部会第2回研修・租 税教育実行委員会



金沢法人会会報 第192号
平成23年1月15日発行

◆
発行所
〒920-0919
金沢市南町4番60号(大同生命ビル2階)
電話222-2907 / 222-2910

社団法人 全沢法人会

社团法人 金沢法人会

◆ 短集發行人：布田 信

編集先行人 在田 真一

◆ 印刷所 コミダ印刷(株)

印刷所 ヨシタ印刷(株)